

第24回
貨物鉄道論文賞
募集要綱

2024年4月

日本貨物鉄道株式会社
貨物鉄道論文賞運営委員会

1. 目 的

この賞は、効率的で、かつ環境にやさしい輸送機関である貨物鉄道の発展と利用促進のため、一方で、深刻化する労働力不足などの取り巻く環境の変化を敏感にとらえ、「貨物鉄道に関する先進的ならびに独創的な提案・研究」「鉄道を基軸とする総合物流に関する提案・研究」などを顕彰することを目的としています。

また、第21回目を契機に、よりわかり易い名称を意識して、「鉄道貨物振興奨励賞」から「貨物鉄道論文賞」に改称しました。

環境負荷が極めて低く、大量の貨物を効率的かつ安定的に輸送できる貨物鉄道の特性を、“未来に向け発揮させていく”こと、より一層、“皆さまから幅広くご応募していただく”こと、を願って改称に至りました。これまで以上に、本賞へのご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

2. 応募資格

上記内容に沿ったものであれば、個人・グループ・団体・企業を問わず、どなたでも応募できます。社会人、大学生、専門学校生はもちろんのこと、小・中・高校生の皆さんの応募も歓迎します。

3. 応募テーマ

上記目的に沿った、「貨物鉄道の発展に寄与する提案・研究」、または「貨物鉄道を基軸とする物流全体の生産性向上に資する提案・研究」などについて、幅広い分野がテーマになります。

※「過去の受賞論文（類型別）」、「最優秀受賞テーマ」については、要綱の末尾に掲載されている【参考1】【参考2】をご覧ください。

4. 応募方法

- (1) 応募論文は、上記の目的に沿ったもので、日本語で書かれた未発表論文とします。
- (2) 応募論文は、A4用紙（40字×36行）で5枚以上15枚以内（図表・写真を除く）とし、ご応募の際は、MS-WORDにより作成された原稿ファイルを、下記送付先に電子メールでご送信下さい（CD-ROMによる郵送可）。
また、論文レイアウトの原状を保つ意味から、原稿とは別にPDFファイルを添付いただくか、印刷した論文をご送付下さい。
- (3) 応募論文とは別に、A4用紙1枚に、論文の要約を1,000字以内でまとめ、ご応募の際は、必ず添付して下さい。
- (4) 応募論文と要約の他に、次の事項をA4用紙1枚に明記した応募用紙を添付して下さい（応募用紙は、当社ホームページからもダウンロードできます）。
①住所、②氏名、③年齢、④連絡先電話番号（日中、連絡可能な電話番号）、⑤勤務先又は学校名、⑥本賞を知ったきっかけ（例：雑誌名、当社ホームページなど）、⑦他薦による場合であれば推薦者名

（注）ご提出をいただきました個人情報に関しましては、賞の選考目的以外には使用しません。

（注）応募方法の条件を満たさないものは審査対象外となりますので、十分ご注意下さい。また、応募いただきました論文は返却いたしませんので、ご了承下さい。

5. 応募締切日 2024年8月30日（金）必着
※応募受付後、受付完了メールを送信いたしますのでご確認ください。

6. 応募先 電子メール bosyu@jrfreight.co.jp

郵 送 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目 33 番 8 号
サウスゲート新宿
日本貨物鉄道株式会社 貨物鉄道論文賞運営委員会 事務局

7. 入賞論文の発表並びに表彰式

『貨物鉄道論文賞運営委員会』において厳正な審査を行い、入賞論文を選考します。各応募者には、2024年11月中旬を目途に事務局より、審査結果のご通知を申し上げます。

表彰式は、2024年12月中旬に開催を予定しており、詳細は、事務局より受賞者に、ご連絡をさせていただきます。

8. 表彰および賞金

- | | |
|--------------|------|
| (1) 最優秀賞（1件） | 50万円 |
| (2) 優秀賞（1件） | 30万円 |
| (3) 奨励賞（1件） | 20万円 |
| (4) 特別賞（1件） | 10万円 |

（注）JR貨物グループ社員からの応募作品については、上記の対象外とし、特に優秀な論文については、「JR貨物社長賞」を贈呈します。

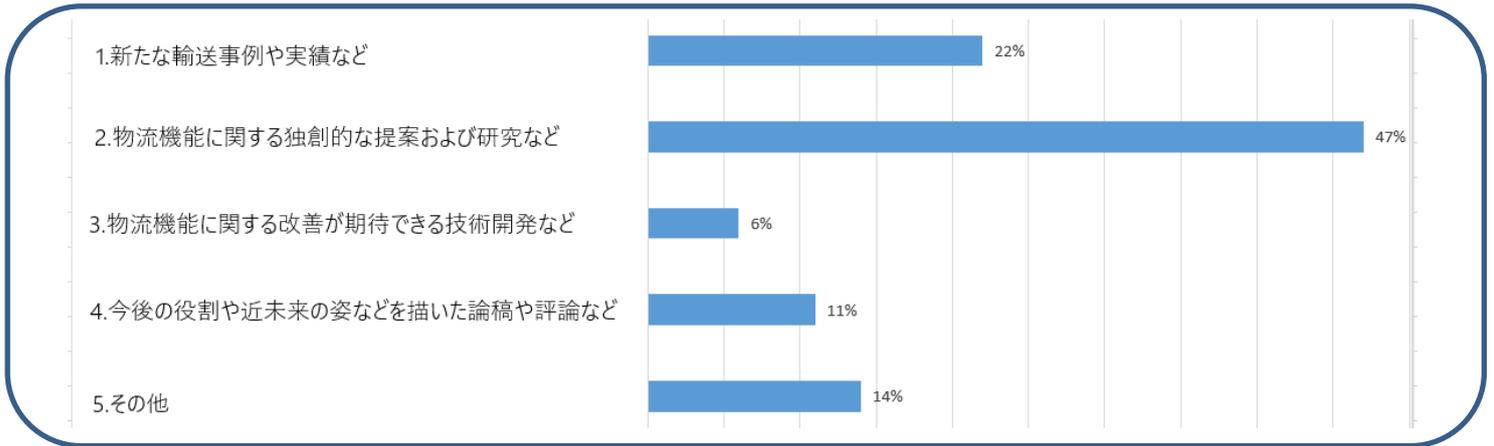
9. 「第16回住田物流奨励賞」への選考対象

応募いただきました論文は、本賞のほか、交通の各分野において、物流の発展のために大きく貢献した著作、論文、研究などを顕彰する「第16回住田物流奨励賞」の選考対象としても審査させていただきます。

10. その他

応募した論文が「審査対象」となった方には、後日、記念品をお贈りいたします。また「受賞論文」は、当社ホームページに掲載するほか、冊子にまとめて配布します。予めご了承ください。

【参考 1】過去の受賞論文（類型別）



【参考 2】過去の最優秀賞受賞テーマ

受賞回	類型別	テーマ	著者
1	2	日本貨物鉄道株式会社の発展に向けた 10 の提案	日本石油輸送(株)原昌一郎様
2	2	製品輸送のモーダルシフトの実践 物流環境取り組み事例	シャープ(株) 伊藤幹雄様
3	1	地球環境に優しいグリーン物流の実践 鉄道貨物によるモーダルシフトの取り組み事例	東北リコー(株) 大友久芳様
4	1	ロジスティクス環境対応における鉄道利用について	キヤノン(株) 山口雅史様
6	1	国際海上コンテナの鉄道による往復輸送とインランド・ハブ & スポーク方式 海上コンテナの鉄道輸送における空コン輸送の効率化	JUKI(株) 荻原克郎様
7	1	十勝産馬鈴薯のクリーン物流モデル実現への道 安心・安全 さらに環境配慮した輸送体系確立に向けた取り組み	北海道士幌町農業協同組合 久保武美様
8	2	お客様と通運事業者と日本貨物鉄道株式会社の発展のための一考察 ノンレール代行便を加味した新たなコンテナネットワークの構築	日本通運(株) 高木貴志様
15	1	専用コンテナによるキュービクルの鉄道輸送の実現	日東工業(株) 水野正博様
16	1	ネスレ日本におけるモーダルシフトの拡大事例と将来への展望	ネスレ日本(株) 尾川太志様
19	1	総合物流企業グループへの発展を目指した「総合物流提案」活動について 当社 国際事業部の取り組みと課題	日本フレートライナー(株) 大嶽王子様
20	1	鉄道輸送におけるモーダルシフトの取り組みと今後の課題について	F-LINE株式会社 鈴木 章二様
21	2	バランスのとれた北海道内物流の構築にむけた貨物鉄道利用促進の再検討 ～この 10 年間の社会情勢の変化を踏まえて～	北海商科大学大学院 永吉 大介様・相浦 宣徳様
22	2	中小事業者における物流の諸課題解決に向けた J R 貨物の鉄道を基軸とした総合物流の活用について	株式会社アルザック 濱中 敏宏
23	2	積み替えステーションを活用した止めない物流への挑戦 ～2024 年問題・激甚災害への課題解決を目指した新たな仕組みの構築～	濃飛倉庫運輸株式会社 柴田 秀登

《お問い合わせ先》

日本貨物鉄道株式会社 貨物鉄道論文賞運営委員会事務局

電話：050-2017-4071

E-mail：bosyu@jrffreight.co.jp

URL：http://www.jrffreight.co.jp/shourei.html



「貨物鉄道論文賞」応募論文作成のための「リーフレット」

初めて応募論文を作成しようとする方は、以下を参考にして取りまとめをお願いします。

題名（タイトル）は、論文内容を具体的に表すものを付けて下さい。
～サブタイトル～を付けることもできます。

○ 序論（はじめに）の役割

- ① 導入の役割を果たす部分
- ② 取り上げるテーマ（問題）は何かを具体的に示す
- ③ 書き出しの部分で、これから述べる意見の発端、目的を示す【問題提起】
- ④ テーマ取り上げの論拠として、背景となる先行研究があれば、それを紹介する
- ⑤ 論じるのに必要な前提情報を、その分野に知識のない読み手にも分かるように説明する
- ⑥ 読み手が全体を円滑に意欲的に読み続けることができるためのガイドとなる

1. はじめに（A 4用紙（40字×36行）1枚程度）

論文のテーマについて選んだ理由、取り組みの背景をエッセンスとして短い文章で取りまとめ、読み手の興味を引くよう心がけて下さい。

例えば、総合物流、環境対策、モーダルシフト、輸送効率化、荷役改善といった大きな視点に立ち、選んだ具体的なテーマとの関連付けを行なって下さい。

○ 本論の役割

- ① 結論を支える役割を示す部分
- ② 序論から結論を導き出す
- ③ 事実（調べたこと、データ、結果）を用いて論拠を示し、なぜそのような結論になるのかを理論的に説明する【意見記述】
- ④ 反論や批判も予測して、多角的に論拠・根拠を述べ、読み手の理解を深める

2. 現状の分析（A 4用紙（40字×36行）5枚程度）

(1) 「はじめに」で掲げた問題意識をもとに、現行の輸送にかかわる数量、時間、行き先、各運輸機関の輸送サービス等、また、現在行なっている業務について、時間、コスト、使用している輸送機器等、あるいは、広く環境や物流（CO₂、燃料高騰、労働力不足、インフラ等）等について問題点の洗い出しを行ない、問題意識を浮き彫りにするよう心がけて下さい。

(2) 論旨をわかりやすくするための概念図、図表、グラフ、写真等は、理解を深めるために有用です。必要に応じてご活用下さい。

3. 展開（A 4用紙（40字×36行）5枚程度）

(1) 「現状の分析」で具体的に得られた結果（行き先、時間、数量、コスト、作業改善・CO₂削減効果等）をもとに、今後の取り組みについて仮説をたてる、あるいは、他のモデルとの比較検討を行なうなどにより、新しい選択肢を見つけて下さい。

(2) それらの課題解決に向けた方向付けを行ない、現状と対比しつつ、各種実証実験等を実施、あるいは、新しい輸送機器、装置、ソフトの投入、あるいは改良等によって有効と確信できる対策を作りあげ、得られた結果によって、どのくらいの効果があるかを試算し、結論に結びつける。または、貨物鉄道の実現に資する提言として数項目にまとめて下さい。

(3) 論旨をわかりやすくするための概念図、図表、グラフ、写真等は、理解を深めるために有用ですので、必要に応じてご活用下さい。

○ 結論（むすび、まとめ）の役割

- ① まとめの役割を果たす部分
- ② 全体の内容をざっと概観し確認する
- ③ 意見を締めくくる
- ④ 中心テーマ（意見、主題）をアピールする
- ⑤ 序論で述べた目的に呼応するよう整合していかなければならない
本論での成果に基づき、それを足がかりにとして、将来（次の段階）、何をしたらよいかを示す

4. 結論（A4用紙（40字×36行）1～2枚程度）

結論は、序論の論文の作成目的と関係付けて結び、結論を分かりやすく、自分の意見を明確に入れて書いて下さい。

○ 最後に、参考文献、資料、Webサイトのリストを載せる

応募論文を記入する上での留意点

論文を書く場合、以下のことに注意して、読み手に読みやすいように、分かりやすく書いて下さい。

- ・ 誤字・脱字がないように気をつける
- ・ 論理的にわかりやすく、読みやすく書く
- ・ 表記や用語を統一する
- ・ 文体は「である」調で書く
- ・ 1文はあまり長くないようにする
- ・ 説明には図表を有効に活用する
- ・ 図番号は図の下、表番号は表の上を書く。出所があれば『(出所) 国土交通省「・・・統計」と書く
- ・ 事実（実際に得られている結果など）と意見（事実に基づいた見解や推測など）を区別する
- ・ 自分の意見か、他の文献、参考サイトにある見解からの引用かが、読み手に読み取れるように書く（例）「○○で述べられているように・・・」「・・・(参照)」
- ・ 参考文献がある場合は、著者名、書名、出版年数、出版社を最後に記述する。

第 24 回 貨物鉄道論文賞 応募用紙

2024 年 月 日

日本貨物鉄道株式会社 御中

以下の論文について、第 24 回 貨物鉄道論文賞に応募します。

論文名	
① 住所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	〒
② 氏名 (ふりがな)	
③ 年齢	
④ 連絡先 <input type="checkbox"/> 携帯 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	電話 (日中ご連絡が可能なもの) : E-mail :
⑤ 勤務先 (又は学校名)	
⑥ 本賞をお知りになったきっかけ	(例: 雑誌名、当社ホームページなど)
⑦ 推薦者名 (他薦による場合)	【会社名又は学校名等】 【お名前 (ふりがな)】

(注 1) ご応募いただきました論文は、返却いたしません。

(注 2) ご提出をいただきました個人情報に関しましては、本賞における目的以外には使用しません。